



2025年度 客員教員 による ステップアップセミナー

参加無料

どなたでも無料でご参加いただける客員教員によるステップアップセミナー（公開講演会）です。時間は2時間。セミナー後半には、講師との質疑応答の時間もあります。参加申込方法は裏面をご覧ください。

福岡学習センター会場（定員50名）
（北九州サテライトスペースでZoomにより参加できます）

7月27日（日）10:00～15:00

※参加申込受付は6月27日（金）から開始

お申し込みはこちらから⇒



堀井 伸浩 九州大学大学院経済学研究院准教授 (10:00～12:00)	世界のエネルギー地政学の激変と我が国エネルギー・環境政策の課題 従来よりエネルギー小国として我が国はエネルギー安定供給に高い関心を払ってきましたが、近年は気候変動への関心に押され関心が薄れている面があります。しかしウクライナ戦争や中東情勢の不安定化により、我が国のエネルギー輸入価格は高騰し、貿易赤字の大きな原因となっています。我が国の発展にとって望ましいエネルギー・環境政策はどうあるべきか、最新のエネルギー基本計画の内容検討も含め、皆さんと考えます。
池田 浩 九州大学大学院人間環境学研究院准教授 (13:00～15:00)	企業カルチャーの心理学—組織に流れる共通の価値観はいかに組織を活性化・衰退させるか— 昨今、組織に流れる共通の価値観ともいうべき「カルチャー」（組織文化、風土）に起因する不祥事が相次いで報道されている。他方で、健全なカルチャーは組織を活性化させ、人々のウェルビーイングを高める機能も持つ。こうした「カルチャー」はいかに形成され、それはどのような構造を持つのか。また、なぜ企業によって望ましいカルチャーと、風通しの悪いカルチャーができるのだろうか。企業カルチャーに関わる最新の知見から、この問題を考えていきます。

8月9日（土）10:00～15:00

※参加申込受付は7月9日（水）から開始

お申し込みはこちらから⇒



萩島 理 九州大学大学院総合理工学研究院教授 (10:00～12:00)	私たちの住まいと暮らし方から考える熱中症 近年、西日本では日平均気温が平年値に比べ極めて高い猛暑の年が頻発するなど、地球規模の気候変動の影響が身近に感じられるようになりました。それに伴い、熱中症に伴う救急搬送者数や死者数も増加傾向にあります。こうした状況を踏まえ、本講義では熱中症に関して、建築環境工学の観点での住まいのシェルター効果、救急搬送データやアンケート調査の分析に基づく知識—認識—行動の3ステップによる予防策についてお話します。
宮本 一夫 九州大学名誉教授 (13:00～15:00)	東アジアの青銅器と鉄器の始まりを考える モンゴル青銅器時代墓葬の発掘調査から、東アジア特に中国での青銅器や鉄器の始まりがどのようにしてそして何時始まったのかを明らかにします。それはユーラシア草原地帯を経て西アジアから東アジアへ広がったものでした。その広がりは、ユーラシア草原地帯における人の移動とも関係していました。農耕社会と牧畜社会の接点で受け入れられた青銅器や鉄器は、農耕社会の中国において独自の技術に転換して行きます。

9月21日（日）10:00～15:00

※参加申込受付は8月21日（木）から開始

お申し込みはこちらから⇒



立花 宏文 九州大学大学院農学研究院主幹教授 (10:00～12:00)	緑茶と健康 鎌倉時代の榮西禅師は「喫茶養生記」において、“茶は養生の仙薬なり。延齡の妙術なり”と記しています。このように緑茶の効能は古くから活用されてきました。本セミナーでは緑茶の生体調節作用とそのメカニズムに関する最近のトピックスを紹介します。
松村 瑞子 九州大学名誉教授 (13:00～15:00)	「ポライトネス」と「丁寧さ」 英語の“politeness”「ポライトネス」は日本語では「丁寧さ」と訳されます。しかし、英語の「ポライトネス」は日本語の「丁寧さ」「礼儀正しさ」とはかなり異なる概念です。この講義では、まず敬語を中心とした礼儀正しさを連想させる日本語の「丁寧さ」と、“face”（面子）という概念を中心とした“strategy”（戦略）としての英語の「ポライトネス」の相違について見ていきます。次にこの相違がどのように変化してきているのかについて考えていきます。

11月2日（日）10:00～15:00

※参加申込受付は10月2日（木）から開始

お申し込みはこちらから⇒



村木 里志 九州大学大学院芸術工学研究院教授 (10:00～12:00)	テクノロジー時代における健康づくり 急速に進化するテクノロジーは、私たちの生活を大きく変えています。しかし、テクノロジーの利便性に振り回されず、個々の価値観を大切に生活を送ることが、心身の健康を保つ上で重要です。この講演では、テクノロジーのメリットとデメリットを深く探りながらテクノロジー時代の健康づくりについて考えます。
分部 利紘 西南学院大学人間科学部准教授 (13:00～15:00)	判断と決定の心理学 私たちは日々、知らず知らずのうちに自分の直感を頼りに判断や決定を下しています。しかし、その判断や決定が本当に最適であるとは限りません。私たちの判断や決定には特有の“くせ”があり、それが様々な選択に影響を与えていることが多くの研究で明らかになっています。本講演では、日常生活の具体例も交えながら、こうした判断や決定の傾向を心理学的な視点から学びます。

2月8日(日)10:00~15:00

※参加申込受付は1月8日(木)から開始

お申し込みはこちらから⇒



小山内 康人 九州大学名誉教授 (10:00~12:00)	日本で起こる地震・津波の発生機構と災害 近年、日本各地で大規模な災害をとまなう地震が頻発しています。九州でも2005年の福岡西方沖地震や2016年の熊本地震でなどの活断層地震で甚大な被害が発生し、2024年以降は南海トラフ地震とも関連する日向灘での海溝型地震も頻発しています。このセミナーでは、地震や津波の発生メカニズムについてわかりやすく解説し、日本では避けることができない災害に向けて、防災・減災意識の向上に役立てて欲しいと思います。
南里 豪志 九州大学准教授 (13:00~15:00)	プログラミングのはじめ方 パソコンなどで簡単にプログラムを作成できるツールを使った、プログラミングのはじめ方を紹介します。なお、本講座の定員は、福岡学習センター会場が20名、北九州サテライトスペース会場が10名です。また、ノートパソコンかタブレットをご持参ください。学外の方につきましては、ポケットWi-Fiなどインターネットに接続できる環境をご準備ください。

2月22日(日)10:00~15:00

※参加申込受付は1月22日(木)から開始

お申し込みはこちらから⇒



金子 周平 九州大学大学院人間環境学研究院准教授 (10:00~12:00)	筆記の心理：日記や手紙から心理療法まで 日記にしても手紙にしても、何かを書こうとするだけで、心は独特な動きを始めます。結果的には一文字も書かれなくてもです。筆記の構えはそれだけで心理的な作業だと言えます。心理療法では、悩み事や葛藤、心に残った思いについて、日記や手紙形式で書く作業を活用することがあります。日常生活の中でも書くことは心の健康を保つのに役立つでしょう。今回のセミナーでは、筆記の心模様と心理療法を紹介します。
田淵 浩二 九州大学大学院法学研究院教授 (13:00~15:00)	刑事司法の担い手たち 犯罪、捜査、裁判といった刑事司法の分野は社会生活とも馴染みが深く、警察、検察、裁判所、弁護士といった刑事司法の担い手がテレビドラマの主演として登場することも少なくありません。そこで、実際にこれらの担い手たちはいかなる組織の中で、どういう役割を果たすことが期待されており、それをどうやって果たそうとしているかについて、最新版の白書や裁判官の著作物などを読みながら、少し詳しく学んでみましょう。

北九州サテライトスペース会場 (定員50名)
(福岡学習センターでZoomにより参加できます)

8月24日(日)13:00~15:00

※参加申込受付は7月24日(木)から開始

お申し込みはこちらから⇒



山下 智也 北九州市立大学文学部教授 (13:00~15:00)	子どもを取り巻く遊び環境の変遷 子どもを取り巻く遊び環境は年々厳しさを増しています。本セミナーでは、簡単なワークを通してみなさんの子ども時代を思い出しつつ、現代の子どもの遊び環境との違いを概観するとともに、子どもの心に及ぼす影響について考えを深めます。さらに、子どもの遊び環境を豊かに保障していくために、私たち大人にできることは何かを、みなさんと一緒に考えてみたいと思っています。
---	--

3月7日(土)13:00~15:00

※参加申込受付は2月7日(土)から開始

お申し込みはこちらから⇒



鶴野 玲治 九州大学大学院芸術工学研究院教授 (13:00~15:00)	計算が創る映像—コンピュータグラフィックスの理論と表現 コンピュータグラフィックス(CG)は、光の反射や屈折といった物理現象を計算しリアルな映像を生み出す技術です。写真は光が物体に当たりレンズを通してセンサーに結像することで得られます。このプロセスをシミュレーションすれば写真のような画像を生成できます。本セミナーでは、CGの基礎となる考え方を紹介しコンピュータだからこそ可能な「描く」「見せる」「魅せる」「操作する」といった表現技術について解説します。
---	---

参加申込方法

受付開始後、①Googleフォーム②電子メール③FAX④お電話 のいずれかの方法により、下記5項目についてお知らせください。 **※ご注意：受付開始前の申込はお受けできません。**

【ご連絡いただく項目】

1. 参加希望セミナー名
2. 参加会場（福岡または北九州）
3. 申込者氏名（ふりがな）
4. ご連絡先（TEL）
5. 申込者属性（在学生・一般）

- ① 電子メール ✉ fukuoka-koen@ouj.ac.jp
(セミナー申込受付専用アドレス)
- ② FAX 📠 092-585-3039
- ③ お電話 ☎ 092-585-3033